

令和3年度7月教育委員会 会議録

開催日時	令和3年7月16日（金） 15:00～17:00	
開催場所	町民総合会館 練習室	
出席者	委員	徳山順子教育長、竹井成範委員、栗坂祐子委員、市橋晃委員
	事務局	村木美晴生涯学習課長、水玉匠紀学校教育課長、石原知子主幹
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 教育長あいさつ 2 議事・報告案件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 義務教育学校の検討について (2) 教育再生実行会議 第12次提言について (3) GIGA スクール構想の実現に向けて (4) 令和4年度早島小学校通学方法について (5) その他 3 連絡 <ul style="list-style-type: none"> ・第1学期始業式 ・第13回熟議 ・第2学期始業式 ・早島中学校3年修学旅行 4 閉会 	
会議資料		
傍聴者		
会議録作成者	石原 知子	

会議内容

1 開会

教育長あいさつ

教育長：来週月曜日が幼稚園、小学校、中学校の終業式で、8月25日が始業式となっている。夏季休業中には、わくわくサマータイムで15日間の学びを行う。また、学びの舎講座では、人権についても学びを深めていくため、人間裁判の町として、LGBT や統合失調症についても講演を準備している。子どもたちの心のSOSに気付く大人になりたいものだ。

中学2年生が総合的な学習の時間に、起業体験として商品開発に取り組んでおり、SDGsの発想で早島への愛着や活性化を考えているが、よいアイデアが多く、

どれが選ばれるか楽しみだ。地元企業の方の連携もありがたく、地域全体を学び舎とした協働・協学・協育のまちづくりを目指したい。

2 議事・報告案件

(1) 義務教育学校の検討について

教育長：何度も話をしている議事ではあるが、新しく市橋委員さんが着任されたので、説明を行いたい。来年度は岡山市で、それ以降美咲町で義務教育学校が設置される予定である。整備検討の資料をご覧いただきたい。施設部会とカリキュラム部会を令和元年に立ち上げ、検討を進めてきた。(資料読み上げ)

先日は、早島中学校の PTA 連絡協議会で、義務教育学校の説明をさせていただいた。まずは、PTA から話を始めていく。

市橋委員：資料から 1 案がいいとは思いますが、費用面で難しいこともある。また、将来を見据えたときに、50 年後の子どもの人数を考えて選択しなければならない。総合的に考えたときに 2 案が現実的かと思う。生徒数が増加するから義務教育学校を設立するというのではないのか。

教育長：生徒数の増加に伴う義務教育学校の新設ということではない。

市橋委員：小学校でも教科担任制や習熟度に分けて学習するのは大変ありがたい。

教育長：小学校 1～3 年生で放課後はやしま塾をしているが、低学年から基礎基本の定着を図っていくことの大切さを感じている。

市橋委員：はやしま塾には、子どもが通っているが、学習でわからないことを復習していると言っている。

教育長：義務教育学校では、特別なカリキュラムを組むことができるメリットがある。早島町の子供たちを見ていると、4 年生を最上級生にした 4・3・2 制のカリキュラムや 4・2・3 制は、実現可能だと思う。一体型の 1 案もよいかもしれないが、規模が大きくなることや費用面も難しいことが意見としてある。岡山市や美咲町が義務教育学校をスタートしたらイメージがわくのではないか。義務教育学校の制度についてはまだなじまないで、今後は義務教育学校についての説明を続けていくしかないと思う。

義務教育学校についてはよろしいか。

全委員：了承した。

(2) 教育再生実行会議 第 1 2 次提言について

教育長：会議のテーマは、「ポストコロナ期における新たな学びの在り方について」であった。ウェルビーイングの実現を目指し、学習者主体の教育に転換すること、デジタル化を進め、データ駆動型の教育に転換することなどが提言として挙げられている。詳しい内容は、資料をお読みいただきたい。

教育再生実行会議についてはよろしいか。

全委員 : 了承した。

(3) GIGA スクール構想の実現に向けて

水玉課長 : 教師から教わる授業から、児童生徒が教師とともに学ぶ授業へと授業観を転換する必要があり、これからは、児童生徒が ICT を文房具の一つとして主体的に活用する視点に立って授業改善を図る必要がある。岡山県教育庁義務教育課から教科等における ICT 活用事例集 STAGE3 編が発行された。事例集を活用しながら授業を進めていきたいと考えている。

教育長 : 小中学校では、一人一台タブレット端末を授業の中でかなり活用することができており、STAGE2 まではほぼ達成できているが、教科によっては差があると感じるので、今後も研修を重ねたい。

市橋委員 : タブレットの持ち帰りはしていないのか。

教育長 : 現段階では持ち帰りはしていないが、2 学期は試行していく予定である。まずは、授業できちんと活用できるようにして、家庭での宿題や復習に活用させたい。

市橋委員 : 家庭でも、子どもはタブレットに慣れており、日常の中でもスマホやタブレットに触れる機会も多い。中学生は、パワーポイントを作ることもできており、日常の中で十分活用されている。

教育長 : 高校になると文房具として、各家庭で購入していただくようになっている。今回は、中学校は公費でタブレットを購入しているが、いずれはご家庭での購入をお願いするときに来るのかもしれない。

市橋委員 : 机や椅子と違って、機器はすぐに古くなるので、買い替えが必要になる。

竹井委員 : 子どもは順応性が高く、ICT に慣れるのも早いのでは。

教育長 : タブレット端末は、一人一台であるが、公共物を貸与している形であり、大切に扱うよう指導を行っているところである。

ICT の活用についてはよろしいか。

全委員 : 了承した。

(4) 令和4年度早島小学校通学方法について

教育長 : 本日、臨時議会後の全員協議会で、早島小学校の通学方法の見直しについて、議員の皆さんにお伝えした。コミュニティバスに乗れないからということではなく、体力づくりの面からも従来の通学方法に戻っていきたいということ、安全面の確保から見守り隊のお願いやグリーンベルトの整備、地区ごとの集団登校の実施などを検討することを保護者の方にも周知した。自治体や子ども会と一体となって安全を確保していきたい。10 年前に比べると交通量も多くなり、暑さも増しているが気を付けて登下校できるようにしていきたい。

保護者からの意見としては、ほとんどが了解してくださっているが、やはり想定できるように、交通量の多さや一人で帰ることへの不安もあがっている。当然だろうと思うので、保護者の方にも協力をお願いしたいと考えている。

栗坂委員：自分の子どもたちが歩くことに対しては、体力がついてよかったと考えているが、今は時代が違うので、柔軟に対応していく必要があると感じている。距離が遠くなればなるほど、不安はあると思う。

竹井委員：安全に関しては、絶対ということはないので、不安があるのもわかる。危険を最小に食い止めるための努力をすることが大切だ。

教育長：コミュニティバスは小学1・2年生で希望利用するとしても、それで一杯となる。ここで、痛みを分かち合いながら徒歩通学へと転換を図っていきたい。議会からも、学校が決めればよいといわれたのでその方向で進めていこうと思う。学校として徒歩通学を奨励したいという思いは昔から同じである。徒歩通学についてはよろしいか。

全委員：了承した。

(5) その他

教育長：今後の日程についてご覧いただきたい。8月7日(土)には、熟議を予定している。委員さんも都合がつけばご参加いただきたい。そのほか何か意見があれば伺いたい。

市橋委員：先日警報が2日続けて出ていたが、休校になる基準等はどうなっているのか。

教育長：地域によって休校の基準は違う。早島町は大雨警報、暴風警報、特別警報で休校としている。市内のほとんどは、大雨警報で休校にならないので、警報で休みになることも想定して、教育課程を組まなければいけない。最近では、年2～3日は大雨警報で休校になることが多い。

市橋委員：大雨警報がでて、授業中であれば小学校は避難場所なので、そのまま学校にさせたほうがよいのではとさえ思う。結果論だが、大雨警報のあと晴れていた。保護者としては、急な迎えは負担となっている。

教育長：ご協力をいただき、感謝している。本町は、用水路も多く大雨で用水があふれることがあり、道と水路の境がわからなくなる地域もある。警報が出て、子どもたちを家に帰さなければ、家に帰れなくなることも想定される。地盤が緩んでいることもあるので、雨が上がったから安心ということでもないようだ。現在は、警報が早く出される傾向があるが、気象庁からの連絡には従っている。学校としては、授業時数が減り、気になってはいるのだが、警報が出たら休校、下校としている。ご理解をいただきたい。

教育長　：次回、総合教育会議を行うので、議論したいことがあれば教えていただきたい。

4　閉会

※ 次回の教育委員会は、8月27日（金）の予定で、そのあと、総合教育会議を予定している。